

自己評価表(令和5年度版)

学校法人聖テレジア学園／園長用

実施日 令和 7 年 12 月 12 日

幼稚園名 小さき花幼稚園

氏 名 渡邊理恵

次ページからの自己評価の着眼点について

I 教育内容①

この項目では日頃の保育の充実を図るために、教育要領等を踏まえてしっかりした目標をたてているか、目標を達成するために綿密な計画を組んでいるか、その計画に沿って日々の保育を行っているか、随時見直しをしているか等々を評価します。具体的には「保育の計画性」や「教職員体制の充実」が評価の軸となります。

I 教育内容②

ここでは幼児に接する教職員の能力が向上するような研修の機会を園が築いているか、また幼児が健やかに成長するための環境づくりに園がしっかり取り組んでいるかどうかを評価します。具体的な評価軸は「研修や研究」や「教育環境の構成」です。

II 地域の幼児教育センターとしての役割

この項目では園と地域社会とのあり方を評価します。通常の保育時間内に限らず、また在園児以外の未就園児についても園がどのような関わり方をしているのかをみます。具体的な評価軸は「未就園児に対する支援」「教育相談機能」や「預かり保育」です。

III 安全管理

安全管理で問われるのは、日頃行う様々な活動に対してそれを脅かすものへの備えがハード・ソフトの両面からしっかりとできているかどうかです。具体的な評価軸は「外部侵入者・来訪者等に対する安全対策」や「衛生に対する安全管理」「施設、設備、園児に対する安全対策」です。

IV 人事管理

この項目では使用者である園長が雇用に関する知識をどのくらいもっているか、また学校教育法(第81条)を踏まえた人事配置をしっかりとこなしているかどうか等を評価します。具体的な評価軸は、「教育目標達成のための人事」「教職員募集、採用試験」「雇用条件」「労務管理」「健康管理」「教職員の資質向上への取組み」です。

V 財務管理

限りある収入を保育活動に効率よく充てるために、園長は根拠のある予算作りを行い、一年間を予算どおりに執行しなければなりません。また園が抱える情報については法人の定めたルールに基づいた情報の公開や保護が必要であることを知らなければなりません。これらの点を「予算作成」「予算管理」「決算」「財務情報の公開」「物品購入」の評価軸で評価します。

| I 教育内容① | ＜評価の基準＞ | | | |
|--|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | A. 十分達成されている B. 達成されている C. 取組んだが成果が十分でない D. 取組みが不十分である | | | |
| 評価内容 | 自己評価(該当欄に○印を記入) | | | |
| | A | B | C | D |
| ①園の教育理念や教育方針を明文化している | <input type="radio"/> | | | |
| ②年度の初めに園の教育目標がしっかりとたてられている | <input type="radio"/> | | | |
| ③教育目標を達成するために自園の問題点を把握し、課題を設定できている | <input type="radio"/> | | | |
| ④園の教育課程が自園の教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて編成されている | | <input type="radio"/> | | |
| ⑤幼児の生活が豊かになるような行事を幼児の実態に合わせて精選している | <input type="radio"/> | | | |
| ⑥指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づいて指導計画の見直しを行っている | | <input type="radio"/> | | |
| ⑦指導計画が教育要領、教育課程、幼児の実態に即したものになっているかを把握し、指導助言できる体制がある | | <input type="radio"/> | | |
| ⑧個々の幼児について教職員で話し合う場を定期的かつ必要に応じてもつことができる体制がある | <input type="radio"/> | | | |
| ⑨教師間で互いの保育について話し合い、評価・反省をして次の保育に生かすことができる体制がある | <input type="radio"/> | | | |
| ⑩教師が上級免許、養護教諭・小学校教諭などの多様な免許を取得する機会を確保するよう努めている | | | | <input type="radio"/> |
| I 教育内容② | ＜評価の基準＞ | | | |
| | A. 十分達成されている B. 達成されている C. 取組んだが成果が十分でない D. 取組みが不十分である | | | |
| 評価内容 | 自己評価(該当欄に○印を記入) | | | |
| | A | B | C | D |
| ①自園のテーマや重点課題が教職員に認知されている | | <input type="radio"/> | | |
| ②個々の教職員が自分の課題を把握し、園はその課題を達成できるような指導体制を築いている | | <input type="radio"/> | | |
| ③自園の教育理念をもとに日々の保育に生かせるような園内研修が企画されている | | | <input type="radio"/> | |
| ④実施された研修はしっかり反省をし、必要に応じて研修計画の見直しを行っている | | <input type="radio"/> | | |
| ⑤教育の質の向上、改善の取組みを日々行うとともに、公的機関等の開催する研修会に教職員が参加する機会を確保している | | | <input type="radio"/> | |
| ⑥幼児が安全で心地よく過ごすことができる環境を整えている | | <input type="radio"/> | | |
| ⑦幼児それぞれの興味や関心、能力に応じて、全身を使って活動することができる環境を整えている | | <input type="radio"/> | | |
| ⑧幼児を温かく受け入れる環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしている | <input type="radio"/> | | | |
| ⑨幼児がさまざまな活動や体験をするのに適切な環境を整えている | | <input type="radio"/> | | |
| ⑩幼児が身近な自然や社会と関わることができるような機会の創出を心がけている | <input type="radio"/> | | | |

| Ⅱ 地域の幼児教育センターとしての役割 | ＜評価の基準＞ | | | |
|--|---|---|---|---|
| | A. 十分達成されている B. 達成されている C. 取組んだが成果が十分でない D. 取組みが不十分である | | | |
| 評価内容 | 自己評価(該当欄に○印を記入) | | | |
| | A | B | C | D |
| ①未就園児が親子で登園する日を設けたり、子育て相談を受けたりするなど、地域の子育て支援に取り組んでいる | | ○ | | |
| ②在園児の保護者の教育に関する相談を受け入れている | | ○ | | |
| ③児童相談所や病院等の専門機関に相談や連携ができる体制が整っている | ○ | | | |
| ④預かり保育の内容を適宜検討している | ○ | | | |
| ⑤預かり保育を担当する教職員の体制を整えている | | ○ | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| Ⅲ 安全管理 | ＜評価の基準＞ | | | |
| | A. 十分達成されている B. 達成されている C. 取組んだが成果が十分でない D. 取組みが不十分である | | | |
| 評価内容 | 自己評価(該当欄に○印を記入) | | | |
| | A | B | C | D |
| ①幼稚園設置基準第7条(一般的基準)をふまえ、幼稚園の施設・設備を安全で適切な状態にしている | | ○ | | |
| ②幼稚園施設整備指針第8章(防犯計画)に基づき、ハード・ソフト両面から適切な防犯体制を整えている | | ○ | | |
| ③学校保健法第2条(学校保健安全計画)をふまえ、安全計画を立案している | | ○ | | |
| ④幼稚園施設整備指針をふまえ、安全管理・衛生管理に努めている | | ○ | | |
| ⑤学校保健法第6条(幼児の健康診断)及び第8条(職員の健康診断)により、園児、職員の健康診断を実施している | ○ | | | |
| ⑥学校保健法第16条(学校医、学校歯科医及び学校薬剤師)により、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置いている | ○ | | | |
| ⑦学校保健法第12条(出席停止)をふまえ、伝染病発生に対応することができる | ○ | | | |
| ⑧生活管理指導表等を用いて、食物アレルギーをもつ子どもの情報が管理され、教職員間で共有されている | ○ | | | |
| ⑨子どもが食物アレルギーのショック症状を引き起こした場合を想定して、緊急時の対応策が教職員間で共有され、また十分な研修がおこなわれている | | ○ | | |
| ⑩地震などの災害に備えた防災対策があり、施設・設備・遊具等の状況を定期的に写真などで記録している(震災時の現状確認用として) | | | ○ | |
| ⑪消防法第8条(防火管理者)により、防火管理者を定めて防火管理を行っている | ○ | | | |
| ⑫消防法第17条(消防用設備等の設置、維持)により、消防用設備等を設置し維持している | | ○ | | |

| IV 人事管理 | ＜評価の基準＞ | | | |
|--|---|---|---|---|
| | A. 十分達成されている B. 達成されている C. 取組んだが成果が十分でない D. 取組みが不十分である | | | |
| 評価内容 | 自己評価(該当欄に○印を記入) | | | |
| | A | B | C | D |
| ①幼稚園設置基準第2条(基準の向上)をふまえ、幼稚園の水準の向上に努めている | | ○ | | |
| ②教職員の自己評価を通じて、園長は自園の教職員一人ひとりの問題点や課題を把握している | | ○ | | |
| ③労働基準法第32条(労働時間)による労使協定とは何か知っている | | ○ | | |
| ④労働基準法第2条(労働条件の決定)に基づき労働条件を整え、雇用する職員には同第15条(労働条件の明示)の労働条件を明示している | ○ | | | |
| ⑤労働基準法第19条(解雇制限)、同第20条(解雇の予告)があることを知っている | ○ | | | |
| ⑥労働基準法第32条(労働時間)により、労働時間の定めや残業手当の定め等があることを知っている | | ○ | | |
| ⑦労働基準法第89条(就業規則・作成及び届出の義務)に基づく就業規則を作成し、行政官庁にきちんと届け出ている | ○ | | | |
| ⑧労働基準法第109条(記録の保存)に基づき、労働者名簿等を整え保存しなければならないことを知っている | ○ | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| V 財務管理 | ＜評価の基準＞ | | | |
| | A. 十分達成されている B. 達成されている C. 取組んだが成果が十分でない D. 取組みが不十分である | | | |
| 評価内容 | 自己評価(該当欄に○印を記入) | | | |
| | A | B | C | D |
| ①学校法人会計基準に基づき1年間の予算をたてている | ○ | | | |
| ②月次で予算を管理し、年次で決算ができる。必要ときには補正予算を組むことができる | ○ | | | |
| ③予算を超えるときにはその理由を分析し、次年度の予算作成に活かしている | | ○ | | |
| ④法人が定める情報開示規定を理解し、必要に応じて情報を提供している | ○ | | | |
| ⑤法人が定める個人情報管理規定を理解し、必要とされる個人情報の保護に努めている | ○ | | | |
| ⑥法人が定める経理規定を理解し、物品購入等はルールどおりに行っている | ○ | | | |
| ⑦教材に限らず購入した物品等は無駄を出すことなく、種類・量ともに適切に管理されている | ○ | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

令和7年度自己評価 まとめ

I 教育内容①

| 総合評価 | 自己評価の結果と今後の課題及び改善策 |
|------|---|
| A | 新採用の職員が入ったことにより、職員全体で「教育理念」に対する内容理解を改めて深めることが出来た。 クラス数が減り、学年の打ち合わせができなくなったり個人の負担が増える中、園全体でそれぞれの学年の計画に対し意見を交わすことで、各学年の育ちを把握する良い機会となり、豊かな時間と子ども達の育ちに合わせたカリキュラムを打ち出すことが出来たり園全体で取り組むことで個人への心身への負担も軽減できたと感じた。 |

I 教育内容②

| 総合評価 | 自己評価の結果と今後の課題及び改善策 |
|------|--|
| B | 聖テレジア学園の三園の教職員が参加する研修会をはじめ、園長主幹研修への参加を通して、カトリック精神に基づく幼児教育のknow-howを職員間で共有することが出来た。また、「食育・マネジメント・保護者対応・療育・子育て支援」などの専門分野での研修を通して職員の知識を広げ、得た事柄を日々の保育に生かすことが出来るよう園内研修で共有し、意見交換をしながらより良い保育のあり方を推察・実践することで自己のスキルを高めることが出来たと感じる。ただし、振り返りが浸透してなかったことが課題点である。 |

II 地域の幼児教育センターとしての役割

| 総合評価 | 自己評価の結果と今後の課題及び改善策 |
|------|--|
| B | 未就園児が参加できる「子育て支援活動」を今年度は8回に増やしたり毎週金曜日は園庭を開放し地域のお子さんが安心して遊べるように環境を提供した。 要保護児童対策地域協議会にて、関係各所との対象児へのより良い保育援助について意見交換をしたり、見守りを行うことで幼児の実態、家庭の様子、保護者支援など共有することができた。 療育の面では、専門機関との繋がりにより個々に応じた対応をすることができ、また、専門機関の様子や家庭の様子などを共有することにより、より良い支援が実施できた。 |

III 安全管理

| 総合評価 | 自己評価の結果と今後の課題及び改善策 |
|------|---|
| B | 常に子ども達の安心できる生活空間であるかを点検している。怪我や事故が発生した場合には、必ず場所と経緯を確認し、原因となるものを取り除くようにしている。 経験のある職員を中心に予測を立てられるように意見交換をしたり職員自身が自己判断できるよう安全な環境作りに務められるように指導をしている。 毎月の避難訓練や防犯、交通安全についても折に触れて指導できるようにしている。 |

IV 人事管理

| 総合評価 | 自己評価の結果と今後の課題及び改善策 |
|------|--|
| A | 人事管理に関しては、新たに2名のパート職員が加わり大勢の目で子ども達を観ることが出来た点では良かったと感じているが、出産に伴い育児休暇を取る職員が出たこともあり、実質はゆとりがない状態で日々過ごしてきた。 課題としては、職員の性格や資質をうまく生かしながら保育活動や行事を進めることにもう少し気を配れるようにしていきたい。 |

V 財務管理

| 総合評価 | 自己評価の結果と今後の課題及び改善策 |
|------|---|
| A | 物価高騰が社会的にも問題になっているが、園児（保育）に必要な部分は通常に使えるようにしながらも、様々な場面で無駄な支出がないよう共通理解しながら過ごしてきた。今年度は「餅つき大会」を行うことが出来たが、食品の高騰もあり、一部保護者に負担していただき実施することが出来た。 遊具のメンテナンスなどにより予算以外の支出があった。 |

(注) 総合評価のAは「十分達成されている」 Bは「達成されている」 Cは「取組んだが成果が十分で
Dは「取組みが不十分である」で評価する